

## ギニア月報（2026年4月）

### 主な出来事

#### 【内政】

- 10日、大統領令によって、5月24日に予定されていた国民議会選挙及び市町村議会選挙を5月31日に延期することが決定された。
- 16日、国民議会選挙に関し、選挙総局（DGE）は50選挙区で選出される98議席について暫定候補者リストを発表。
- 20日、市町村議会選挙に関し、DEGは245のコミューンの暫定候補者リストを公表。
- 25日、ドゥンブヤ大統領は、大統領令による立法を認める法律を公布。

#### 【外交】

- 8日、仏大統領特使として当地を訪問したフォリシエ欧州・外務大臣付対外貿易・投資誘致担当大臣が、ドゥンブヤ大統領と面会し、仏訪問に係るマクロン大統領からの公式招待を伝達。

#### 【経済（開発協力含む）】

- 1日、CNTは2026年度当初予算法（LFI）を全会一致で採択。
- 6日、シラ鉱業・地質大臣、シラ経済・財務・予算大臣等が出席した戦略会議において、鉱業会社が国内銀行に送金しなければならない輸出収益の割合を50%から60～70%へ引き上げることが決定。
- 8日、ギニアがECOWAS投資開発銀行（BIDC）理事会議長国に選出。
- 23日、SimFerは、シマンドゥ鉄鉱山プロジェクトの一環として、18人のギニア人若者を中国に派遣する海洋研修プログラムを開始。

### 1 内政

- ・ 9日、国土行政・地方分権省（MATD）は、政党評価に関する新たなマニュアルの策定に着手。
- ・ 10日、大統領令によって、5月24日に予定されていた国民議会選挙及び市町村議会選挙を5月31日に延期することが決定された。
- ・ 13日、特殊部隊の数百名の軍人に国家功労勲章を授与。
- ・ 14日、暫定国民評議会（CNT）は、最高司法評議会に係る組織法を全会一致で採択。
- ・ 16日、国民議会選挙に関し、選挙総局（DGE）は50選挙区で選出される98

議席について暫定候補者リストを発表。

- ・ 20日、市町村議会選挙に関し、DEGは245のコミューンの暫定候補者リストを公表。
- ・ 21日、議会行政職員労働組合（USTG-CSI）は、当局による約束の不履行を理由に、22日に大規模な抗議活動実施を呼びかけ。
- ・ 22日、大統領令をもって、平和とギニアの外交的地位向上への貢献を称え、クヤテ外務・アフリカ統合・在自国民大臣を含む複数の高官を、コラティエ国家勲章のコマンドールの位に叙勲。
- ・ 23日、大統領令をもって、テロ対策として、防衛・安全保障部隊のエリート部隊を統括・調整する部隊間組織である特殊作戦司令部（COS）を創設。
- ・ 25日、ドゥンブヤ大統領は、大統領令による立法を認める法律を公布。
- ・ 27日、ディクシン第一審裁判所は、DGEが公表した市町村議会選挙の暫定リストから外れた10の政党・政治運動が提出した不服申し立ての審理を開始。
- ・ 28日、DGEの公平性の欠如や選挙法の重大かつ継続的な違反を理由に、FRONDEGが選挙プロセスから撤退することを発表。

## 2 外交

- ・ 8日、仏大統領特使として当地を訪問したフォリシエ欧州・外務大臣付対外貿易・投資誘致担当大臣が、ドゥンブヤ大統領と面会し、仏訪問に係るマクロン大統領からの公式招待を伝達。
- ・ 22-24日：ギニアビサウ首相がコナクリを実務・友好訪問。

## 3 経済（経済協力含む）

- ・ 1日、CNTは2026年度当初予算法（LFI）を全会一致で採択。
- ・ 2日、シマンドゥ2040プログラムを通して国の経済発展の加速を目指す中、ギニア共和国中央銀行（BCRG）は経済刺激策として政策金利を9.5%に引き下げ。
- ・ 6日、シラ鉱業・地質大臣、シラ経済・財務・予算大臣等が出席した戦略会議において、鉱業会社が国内銀行に送金しなければならない輸出収益の割合を50%から60~70%へ引き上げることが決定。
- ・ 8日、ギニアがECOWAS投資開発銀行（BIDC）理事会議長国に選出。
- ・ 9日、アディスアベバにて、ギニアがアフリカリスクキャパシティ（ARC）第16回締約国会議（COP16）の議長国に就任。
- ・ 13日、米ワシントンで開催されたIMF・世銀春期会合のマージンで、IMFとの協議を実施。

- ・ 14日、CNTはECOWAS投資開発銀行との2つの緊急融資協定を審議したほか、観光部門の組織化に関する法を採択。
- ・ 14日、欧州連合（EU）が975万ユーロを拠出し、国際貿易センター（ITC）を実施機関とする、雇用と産業を促進するためのプログラム「TRANSFORM」が開始。
- ・ 23日、SimFerは、シマンドゥ鉄鉱山プロジェクトの一環として、18人のギニア人若者を中国に派遣する海洋研修プログラムを開始。
- ・ 25日、ドゥンブヤ大統領は、エネルギーインフラプログラムの一環として、マネアーとリンサンを結ぶ225kV高圧送電線の建設予定区域を公益目的地として指定。
- ・ 29日、バー首相は、オランダの支援によって2022年に着工されたコナクリの5つの橋の開通式に出席。

（了）